

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日 : 令和5年3月8日

公表 : 令和5年3月10日

事業所名 : 児童デイまり

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			利用児の障がいの特性に応じた、安全性と情報伝達の確認をしていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			サービス提供前後の清掃、アルコール消毒、備品の消毒、1時間毎の換気等々、生活空間を心地よく過ごせる環境に努めている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在、実施しておらず。感染対策に留意しつつ徐々に開催に向けて検討いたします。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			幅広い研修の情報を広報し、積極的に参加できる環境づくりに努めている。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		個々のニーズに沿った計画立案をしている。	利用児、保護者のニーズ、課題に沿った「発達支援」「家族支援」「地域支援」の中で必要な支援を検討、選択し計画、作成していく。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		季節に応じたイベント、音楽、遊び及び創作物を企画している。	個々に合った活動ができるようチームで検討し、計画、実施している。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節ごとに音楽、遊び及び創作物を企画している。	季節ごとの行事、個別のスケジュールに沿ってプログラムをたてている。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			日頃から一日の振り返りの中で気づいた点があればスタッフ間でミーティングをし共有事項としている。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			スタッフ、保護者間の連絡を記録し、連携、共有する。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			6ヶ月に一度モニタリングの実施と相談支援、他事業所からのモニタリング時に、情報の共有をする。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			重症児デイにより、医療的ケアを要する利用児にかかわっている看護師が参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			定期的に連絡を取り、情報交換やアドバイスをもらって。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			保護者様を通じて関係機関と連携し、担当者会議等に参加。施設の看護師を中心にミーティングをし、医療的ケアの支援を行っている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			保護者様を通じて、主治医等より診療情報、カンファレンス資料をいただいて、定期的に担当者会議に参加し、連絡体制を整えている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現在、実施しておらず。 感染対策に留意しつつ徐々に開催に向けて検討する。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			保護者様と密に連絡を取っており、スタッフ間で内容を共有、対策の検討を行っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		現在、実施しておらず。 感染対策に留意しつつ徐々に開催に向けて検討する。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		新たにLINEによる連絡手段を増やし、日々会話等を行っている	送迎時等でお話をさせていただいております。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者会を開催しておりません今後、懇親を含めた一年間の活動内容などをお伝えできるよう検討する
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情受付窓口を設置しています。お気軽にご相談ください。重要事項説明書に詳細を記載し、契約時に懇切丁寧に説明している
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			日々、連絡帳にて活動内容を記載。 年に4回ほどお便りにて行事等の内容をお伝えしている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			契約時に細かく確認させていただき、取り扱いに十二分に注意している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			個々に分かる伝達方法を使用している(タブレット、イラスト、写真、絵カード等)
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現在、実施しておらず。 感染対策に留意しつつ徐々に開催に向けて検討する。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		火災、消火、地震、救急処置等の訓練を定期的に行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時、カンファレンス等で事前に把握し、対応している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	アレルギーのある子は食介プレートを大きくし、スタッフ全員が把握できるように細かく記入している。	保護者様を通じて、主治医より指示書をいただき、食物アレルギーに関し、それに基づく対応をしている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	いつでも記入できるよう書式と場所を決めています	インシデント・アクシデントについてまとめて保管し、スタッフ間で周知している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	契約時に詳しく説明をし、承諾書にサインしていただいております。	スタッフ一人ひとりが、拘束を安易に正当化することなく、身体拘束をしないケアの実施に努めていく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日 : 令和5年3月8日

公表 : 令和5年3月10日

事業所名 : 児童デイまり

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		体の大きい利用児が多い日は、スペースが不足していると感じることがある。	利用児の乗っているバギーを隅に固めておく等スペースを有効的に使う。
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		平日の午前中など、空いている時間帯に研修に参加する機会を増やしてほしい。	幅広い研修の情報を広報し、積極的に参加できる環境づくりに努めていく。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		多忙な保護者さまには送迎時に面談電話やメッセージアプリを用い、日々相談や会話を行っている。	利用児、保護者様のニーズを分析し、関係機関とも連携を図り、支援計画を作成する。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		日々成長、発展していくような活動プログラムを決めていきたい。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節ごとに音楽、遊び及び創作物を企画している。	季節ごとの行事、個別のスケジュールに沿ってプログラムをたてている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		全利用児が共通して当てはまるような課題を模索していきたい。	個々の状況、ストレスの発散方法、長期休暇の家での過ごし方を考慮した療育を工夫する。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個々の目標に沿った計画立案している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			スタッフ、保護者間の連絡を記録し、連携、共有する。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			6ヶ月に一度モニタリングの実施と相談支援、他事業所からのモニタリング時に情報の共有をする。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		重症児デイにより、医療的ケアを要する利用児にかかわっている看護師が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		定期的に連絡を取り、情報交換やアドバイスをもらっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		一部の事業所には情報提供をし共有している。他の事業所は要望があれば提供しているが、今後、こちらから積極的に情報提供をし、共有の体制を整備していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	現在、実施しておらず。感染対策に留意しつつ徐々に開催に向けて検討する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		保護者様と密に連絡を取っており、スタッフ間で内容を共有、対策の検討を行っている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	現在、実施しておらず。感染対策に留意しつつ徐々に開催に向けて検討する。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時にや電話、メッセージアプリを用い、日々相談や会話を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	現在、実施しておらず。感染対策に留意しつつ徐々に開催に向けて検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情受付窓口を設置している。重要事項説明書に詳細を記載し、契約時に懇切丁寧に説明している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		日々、連絡帳にて活動内容を記載。年に4回ほどお便りにて行事等の内容をお伝えしている。
	35	個人情報に十分注意している	○		契約時に細かく確認させていただき、取り扱いには十二分に注意している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		個々に分かる伝達方法を使用している。(タブレット、イラスト、写真、絵カード)
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	現在、実施しておらず。感染対策に留意しつつ徐々に開催に向けて検討する。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			火災、消火、地震、救急処置等の訓練を月に一度定期的に行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等サービス計画に記載している	○			各利用児にやむを得ない場合における身体拘束についての説明を配布し、承諾してもらっている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		調理の際は、個別に作成した食札を用い、十分確認したうえでやっている。	契約時、カンファレンス等で事前に把握し、対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			インシデント・アクシデント等についてまとめて保管し、スタッフ間で周知している。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表 : 令和5年3月10日

アンケート期間 : 令和5年2月8日 ~ 令和5年2月28日

事業所名 : 児童デイまり

保護者等数(児童数)6名 回収数4名 割合67%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	4					
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4					
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	3	1				保護者間、スタッフ間で、日頃の様子を伺い、主観に偏らないよう確認しながら作成に努めます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4					
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	2	1		1	季節の行事が定期的であり、すてきなと思います。お天気の良い日にお散歩等があるといいなと思	四季に沿った活動を、スタッフ間で立案、計画、実施します。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1		1	2		感染対策に留意しつつ徐々に地域の行事等に参加し、交流の機会を持てるよう努めます。
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	4					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	2			2	食事の工夫方法を教えていただき助かっています。	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	4					
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1	1	1	1	連絡帳にて助言いただくことがあり、助かっています。	電話やアンケート等で保護者様の気持ちを聞くことのできる機会を増やせるように努めます
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1		1	2	コロナの関係でなかなかできませんが、他利用者の家族との交流会や、家族が参加できるイベント等あるとうれしいです。	現在、実施しておらず。感染対策に留意しつつ徐々に開催に向けて検討いたします。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3			1		苦情受付窓口を設けておりますので、お気軽にご相談ください。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4					
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3			1		会報の頻度、内容の向上に努めます。
非常時等の対応	19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	4					
	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	1	1		2		施設内にマニュアルを常設しております。契約時等で保護者の方への周知に努めます。
満足度	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1			3		定期的に災害に備えた訓練をしています。情報発信にも努めます。
	22 子どもは通所を楽しみにしているか	3			1		
	23 事業所の支援に満足しているか	4				デイに通うことを本人、家族も楽しみにしています。いつもよくしていただきありがとうございます。これからもよろしく願います。他者との交流で少しでも刺激になればうれしい	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表 : 令和5年3月10日

アンケート期間 : 令和5年2月8日 ~ 令和5年2月28日

事業所名 : 児童デイまり

保護者等数(児童数)12名 回収数10名 割合83%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いい え	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8			2		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10					
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	8	1		1		定期的な保護者様との聞き取りやモニタリング会議等の開催により、より利用者様のニーズに沿った計画を作れるよう努めます。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	8			2	外出をするイベントがあるとうれしいです。	四季を感じるイベントを行っています、今後、会報等の発行回数を増やし、周知いたします。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	1	7	特に必要としていません。	現在行っておりません。感染対策に留意しつつ、徐々に開催に向け検討します。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	1				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9	1				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	3				
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	3	3	3	今のご時世ですので、なくても問題ないです。把握できていません。	父母の会等は、現在実施しておりません。感染対策に留意しつつ、徐々に開催できるよう努めます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9			1		苦情受付窓口を設けておりますので、お気軽にご相談ください。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10					
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	2		2	知りませんでした、確認します。	今後、日頃の様子や行事予定等を会報だけでなく、ホームページにも掲載していきます。
14 個人情報に十分注意しているか	9			1		個人情報を書かれた書類等は、鍵付きの倉庫にて事務所に保管しており、十分注意を払い保管しております。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	2	1	1	今度聞いてみたいと思います。	事業所内にマニュアルを常設しております。保護者の方への周知に努めます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	1		7	把握できていません。	災害に備えた訓練を定期的に行っています。情報の発信に努めます。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	10				最近慣れてきているようです。	
	18 事業所の支援に満足しているか	10				いつもありがとうございます。	

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達
 ※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施